

DATA SHEET

COLOR NEGATIVE FILMS

FUJICOLOR REALA
ACE

1. 特長・用途

フジカラー REALA ACE は、写真感度 ISO 100 のデーライトタイプのカラーネガティブフィルムです。太陽光、ストロボなどの光源下で撮影する場合には、原則としてフィルターを使用する必要はありません。

このフィルムはフジカラーペーパーにプリントすることにより最高品質の仕上がりを得ることができます。

特 長 結 果

- | | |
|-------------------|--|
| ● 向上した粒状性、シャープネス | ● 大伸しプリントでも滑らかで、きめ細かな画質を再現 |
| ● 第4の感光層の付与 | ● 忠実で自然な色再現性を実現 |
| ● 軟調設計 | ● ハイライトからシャドーまで豊富な調子を再現した、滑らかな階調のプリントを提供 |
| ● アンダー側のラチチュードの拡大 | ● 幅広い露光領域で撮影可能 |
| ● 最適な分光感度バランス | ● タングステン電球や蛍光灯の照明下でも、優れた色再現性を実現 |

2. 写真感度

光 源	写真感度	使用フィルター
デーライト	ISO 100/21°	不 要
タングステン電球 (3200K)	ISO 25/15°**	LBB-12 **

※ 指定フィルターを使用した時の実効感度を示しています。

※※富士色温度変換フィルター

3. 露光ガイド

撮影には露出計の使用をお勧めします。露出計を使用しない場合は次表を参考にしてください。

昼間・屋外

(シャッター速度 1/250 秒のときのレンズの絞り値)

	快晴時の海岸・山・雪景色	快晴	晴	明るい雲	曇・日陰
絞 り	f/16	f/11	f/8	f/5.6	f/4

注 ・上の表は日の出2時間後から日没2時間前までに適用されます。

・曇、日陰などでは明暗の状態が大幅に変わるため、露出計の使用をお勧めします。

・逆光での近接撮影の場合は、通常レンズ絞りを1絞りないし2絞り開けます。

4. 各光源での撮影方法

各光源で撮影するとき、特殊な場合を除いて被写体の照明比を 1 : 4 以内に設定することをお勧めします。

デーライト (昼光)

このフィルムはデーライトタイプとして設計されているため、昼光下での一般的な被写体の撮影には、特にフィルターは必要ありません。また、朝や夕の太陽下のように入色温度が低い場合の撮影でもプリント時の補正で美しいカラープリントが得られるため、フィルターでの補正を必要としません。

ストロボ

● ストロボは光源の特性が太陽光に近いので、一般的にはフィルターは不要です。ストロボは、その有効光量やカラーバランスがメーカーによって異なり、また使用時間などによっても変化するため、あらかじめこれらを確認してください。

● 1/60秒より低速のシャッター速度を使用すると、ストロボ以外の光 (例えばモデリングランプ、室内灯など) の撮影を受けて、よい仕上がりが得られない場合があります。予備のテスト撮影により、仕上がりを確認してください。

● ストロボ撮影の時の絞りは、下記の式により算出される値に合わせてください。

$$\text{絞り} = \frac{\text{ISO 100 のときのストロボのガイドナンバー}}{\text{ストロボから被写体までの距離 (m)}}$$

またオートストロボを使用する場合は、フィルム写真感度を ISO 100 にセットして使用してください。

ストロボ撮影の場合は、被写体の周囲の反射などによって露光量が変わることがあるため、使用するストロボの使用説明書に従ってください。

フォトリフレクターランプ（昼光色写真電球）

昼光色写真電球は他の人工光源に比べ露光不足になりやすい光源であるため、露出計で得られた露光条件よりも、露光を多少増量しなければならない場合があります。また使用する電球は同メーカーのものでも、点灯電圧や使用時間によって光量やカラーバランスが変化するため、あらかじめ使用する器具で露光条件を確認してください。

蛍光灯

蛍光灯の照明下では、プリントがグリーン味になるのをプリント時に補正して最適な仕上がりを得ています。従って、フィルターによる補正は特に必要としません。シャッター速度は 1/30 秒以下の低速で使用されることをお勧めします。

タングステン電球

写真撮影用タングステン電球（リフレクターランプ）で昼光下と同様の撮影効果を得るために、色温度を変換する必要があり、富士フィルターLBB-12（コダックNo. 80A）を使用してください。この場合、露光量の補正は2絞り開けることが必要です。

5. 照明器具

照明光源の光量を調節したり、光を拡散させる目的で用いられる反射がさ、リフレクター、ディフューザーなどは、その材質および反射面が変質していないことや、光源の色質を変えないものであることをあらかじめ確認してください。

6. 長時間露光時の露光補正

露光時間が4秒以上の場合は、下表のような露光量の補正が必要になります。

16秒以上の長露光は基本的におすすめいたしません。また、用途・目的によっては1秒以上の長露光が不向きな場合がありますのでご注意ください。

露光補正表

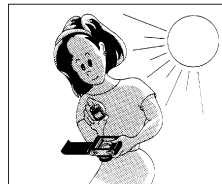
シャッター速度（秒）	1/4000～1	4	16
露光量補正（絞り）	不要	+ 1/3	+ 1

露光時間 1/4000～16秒でのフィルターによるカラーバランス補正は不要です。+は「絞りを開ける」

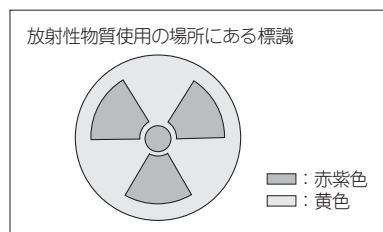
7. フィルムの取扱い

- （有効期限）撮影は、フィルムの外箱にある有効期限内に撮影し、現像は、撮影後速やかに行ってください。
- （開封）冷凍保存されたフィルムは、室温に戻してから、（1時間以上待つ）開封してください。温度が低いうちに開封すると、結露してフィルムが使えなくなるおそれがあります。

- （フィルムの装填・取り出し）フィルムのカメラへの装填・取り出しは直射日光を避けて、すばやく行ってください。周囲に日陰がない場合には、太陽に背を向け、自分の陰の内で行ってください。



- （装填から撮影までの時間）フィルムをカメラに装填したら、できるだけ短期間に撮影を完了し、速やかに現像処理をして下さい。
- （X線による手荷物検査）空港の手荷物検査時に使用されるX線はフィルムに悪影響（カプリの発生）を及ぼす場合があります。X線が強いほど、フィルム感度が高いほど、またX線の（照射）累積回数が多いほど、その影響は大きくあらわれます。したがって、その都度、荷物からフィルムを出し、フィルムにX線をあてないように空港の係員に申し出て、手検査を受けることをお勧めします。
- （放射性物質取扱い施設）病院、工場、研究室などの放射線を取り扱う場所（下記の標識のある場所）でも、フィルムはかぶるおそれがあります。



8. フィルムの保存

現像処理前の保存

未撮影、撮影済み問わず現像処理前のフィルムは湿度・湿度が高いほど写真感度、カラーバランス、カプリなどの写真性能が変わりやすくなるとともに、物理的な影響をも受けやすくなります。これらの悪影響を避けるために、次のような条件に保存することをお勧めします。

- 保存場所・温度：
 - 冷蔵庫（温度 10℃以下）
 - 特に長期にわたる場合
冷凍庫（温度 0℃以下）

開封済みのフィルムはポリエチレンやビニールなどの袋に入れ、密封してください。

現像処理後

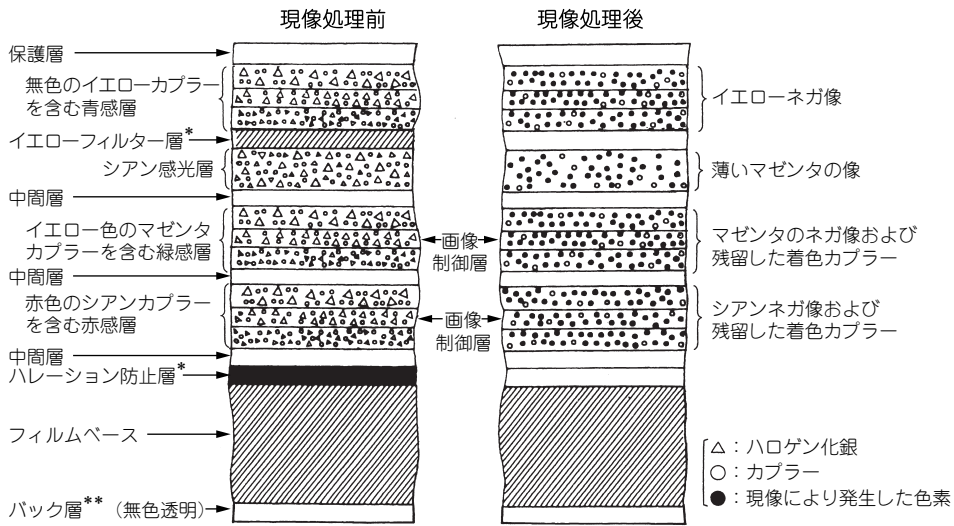
現像処理後のフィルムは当たっている光（特に紫外線）が強いほど、また温度・湿度が高いほど画像が変退色しやすくなります。これらの悪影響や、ほこり、指紋などの付着を避け、画像を長時間安定に保つために、ネガシートに入れ、密封された場所は避け、通気性の良い、なるべく暗い所で、次のような条件に保存することをお勧めします。

推奨温湿度：

- 温度 25℃以下、相対湿度 30～60%の範囲
- 特に長期にわたる場合
温度 10℃以下、相対湿度 30～50%の範囲

注 このカラーフィルムの色素は、他の色素と同様に年月の経過により変化します。

9. 層構成



* 現像処理後無色透明になります

**135サイズには塗布されていません。

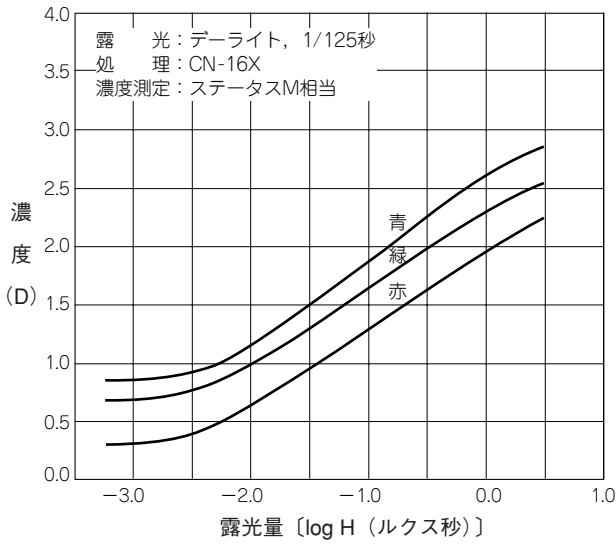
10. 拡散 RMS 粒状度 ……4

マイクロ濃度計の測定アパッチャー：48 μφ
試料の濃度：最小濃度＋1.0

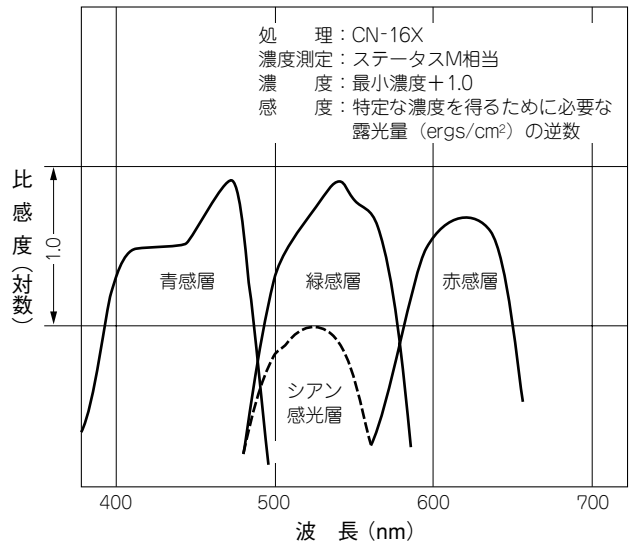
11. 解像力

チャートのコントラスト 1.6：1 …… 63本/mm
チャートのコントラスト 1000：1 …… 125本/mm

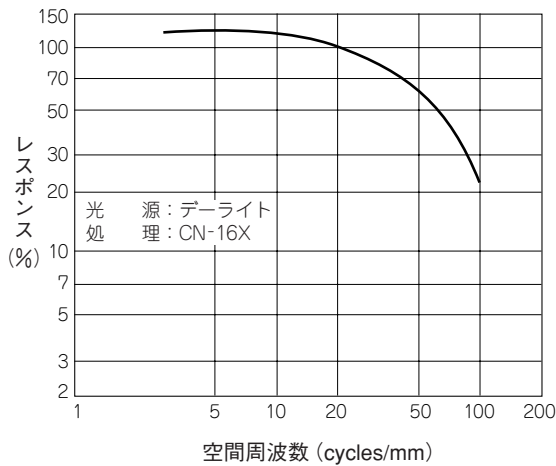
12. 特性曲線



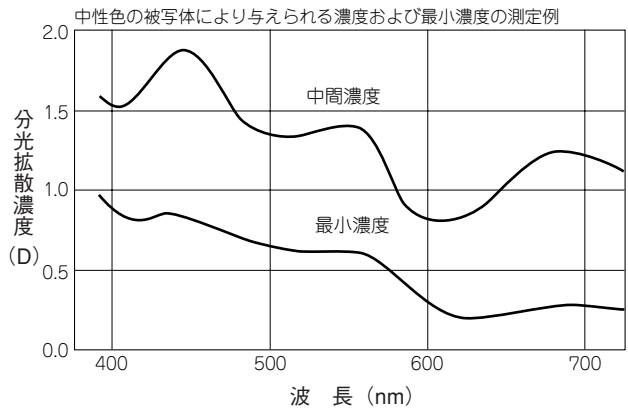
13. 分光感度曲線



14. MTF 曲線



15. 色素の分光濃度曲線



注 このデータシートに記載されているデータ類は、当社で通常実施している試験による結果を表示するものです。当社は製品の性能を常にグレードアップしようとしていますので、製品の改良によって、これらの特性は予告なく変更されることがあります。



富士写真フイルム株式会社

感材部

東京本社 / 〒106-8620	東京都港区西麻布 2-26-30	TEL 東京 (03)3406-2024
大阪支社 / 〒541-0051	大阪市中央区備後町 3-5-11	TEL 大阪 (06)6205-6461
札幌営業所 / 〒060-0002	札幌市中央区北 2 条西 4-2 札幌三井ビル別館 3F	TEL 札幌 (011)241-7164
仙台営業所 / 〒980-0811	仙台市青葉区一番町 4-6-1 仙台第一生命タワービル 7F	TEL 仙台 (022)265-2121
名古屋営業所 / 〒460-0008	名古屋市中区栄 2-10-19 名古屋商工会議所ビル 11F	TEL 名古屋 (052)203-5261
広島営業所 / 〒732-0816	広島市南区比治山本町 16-35 広島産業文化センター 11F	TEL 広島 (082)256-3311
福岡営業所 / 〒812-0018	福岡市博多区住吉 3-1-1	TEL 福岡 (092)281-0231